



▶▶▶プロフィール

なるせ・ゆきえ 昭和39年生まれ。趣味はダンス。「ノンコ」役。**なるせ・みゆう** 檀山女学園中学校3年生。演劇部所属。趣味は絵画、演劇鑑賞。「美佐子」役。

三好演劇塾…平成14年に発足した町民参加の劇団。毎年1回公演を行い、今回で6回目となる。

「学校うさぎをつかまえろ」…自然の残る町の小学校。子どもたちが学校で飼っているうさぎを追いかけるうち、いつの間にか現代から戦時中へタイムスリップして…人とのつながりの大切さを塾生たちが伝えます。



本番に向け練習にも熱が入る

瞳を輝かせて
Brilliant
Eyes

みんなに楽しんでもらえる舞台にしたい
三好演劇塾公演「学校うさぎをつかまえろ」出演

成瀬 有記枝さん(三好丘緑)
光憂さん(写真左)

町民が自分たちの手で作り上げる毎年恒例の三好演劇塾の公演。サンアートでは2月17日に上演されるミュージカル「学校うさぎをつかまえろ」の本番に向け、毎週金曜日の夜、劇団うりんこの皆さんの指導の下、塾生たちの熱のこもった練習の音が響いています。今回は、この公演で、共に主要キャストを演じる成瀬有記枝さんと娘の光憂さん親子を紹介します。

三好演劇塾では、昨年5月から今回の公演の準備を開始。7月に配役が決定しました。光憂さんが演じる「美佐子」は、主要な役の中でせりぶがほとんどない少し陰のある小学生。「表情もはつきり見えない広い舞台の上で、立ち振る舞いだけでその複雑な感情を表現するのが難しいです」と光

憂さんは役作りに集中します。一方、戦時中にタイムスリップした明るく活発な小学生「ノンコ」を演じる有記枝さん。「タイムスリップする前の「のんこ」役の黒川望さんと2人で同一人物の「ノンコ」(のんこ)役を演じるので、その性格や感情についてお互い話し合いながら意思統一を図っています」と役作りに苦心します。

成瀬さん親子は、平成14年度の三好演劇塾の旗揚げ公演から参加。応募したきっかけは、光憂さんが小学校2年生のときに町内の市民ミュージカルに参加して、演劇の楽しさに触れたことからです。そして「どうせ送り迎えをするなら一緒に」と三好演劇塾のメンバーから勧められて有記枝さんも参加。「娘が多感なこの時期に、共通の目的を持って一緒に活動できることは幸せだと思います」と笑顔を見せます。

中学校でも演劇部に所属する光憂さん。「舞台で役を演じている間は、自分と違う別の人物の人生を経験できるのが楽しいです」と演劇の面白さについて話します。また毎年、演劇塾の練習が始まるのを楽しみにしているという有記枝さんは「この塾は、仲間と一緒に一つのものをつくり上げていく大切な場所。普段の生活では味わうことのできない貴重な体験ができます」と三好演劇塾の魅力を話します。

二人は「公演を見てくれる人みんなに楽しんでもらえる舞台にすることが一番の目標です」と瞳を輝かせます。

三好演劇塾公演「学校うさぎをつかまえろ」

▼とき＝2月17日(日)午後3時開演

▼ところ＝サンアート大ホール

▼入場料＝1,000円(全席自由・3歳未満無料)

▼問い合わせ＝サンアート(☎32)20000)

おめでとう おたんじょうび 2月

『けんかしたって大好きだよ』

いつもお兄ちゃんのしゅんくんの後をういて回っている弟のりつくん。おもちやの取り合いでけんかもするけど、しゅんくんはりつくんにおやつを食へさせてあげるとだよ。「兄弟仲良しく、明るく健康に育ってね」とお母さん。

山田 竣介くん(福谷)

平成17年2月2日生

莉久くん(写真右)

平成19年2月26日生

父・春仁さん 母・香織さん



『電車が大好き』

電車のおもちやで遊ぶのが大好きなしゅんくん。家の近くを通る電車を見掛けるとう、いつも手を振って見送るんだよ。おもちやで遊んだ後は、ちゃんと自分で片付けができるしゅんくん。「元気に思いやりのある子に育ってね」とお母さん。

桐山 隼一くん(黒笹)

平成18年2月3日生

父・賢司さん 母・恵美さん

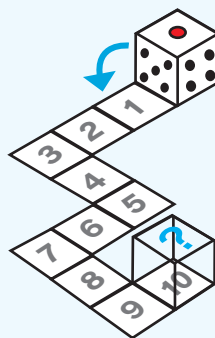


出場者募集

- ▼【4月のお誕生日コーナー】
- ▼応募期間＝3月3日から5日まで
- ▼対象＝4月生まれで3歳未満の子
- ▼応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)83357
- ※2月生まれの応募は、9人でした。(抽選により掲載決定)

広報クイズ

サイコロが、左の図形のように1ます1面ずつころがっていくと、10番目のますで真上に出ているサイコロの目を答えてください。



【応募方法】①答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき：〒470-0295

三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)

ファクス：☎(34)60008

電子メール：hisuyokoh@town.alchi-miyoshi.g.jp

【締め切り】2月12日(火)必着

【1月10日の正解と当選者】答え：①＝4、②＝5、

③＝6(タテ、ヨコ、ナメのすべての列がた

して15)(全64通正解53通)

小川智子、小尾妃奈杏、加藤

タニ工、鈴木愛子、鈴木小百

合、永久郁子、西村次郎、伴

野浩司、古川里美、山田由美子(敬称略)

① 4	3	8
9	② 5	1
2	7	③ 6

※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。

お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

新年に志気を高め無火災を願う

三好町消防団出初・観閲式

新年の初めに防災意識と士気の高揚を図ろうと1月6日、三好町消防団出初・観閲式が南部地区コミュニティ広場で行われました。初めに消防ポンプを使った放水訓練を実施。続いて、久野知英町長くのともひでなどが町内全14分団の消防団員を視閲しました。町長は「一日ごらの訓練を通じてさらなる精進を心掛けてください」とあいさつ。消防活動の功労者の表彰が行われた後、全員で「火の用心」を三唱し、今年の無火災・無災害を願いました。



上手に書けたかな

校内書初め大会(中部小学校)

町内の小中学校で新春恒例の校内書初め大会が行われました。中部小学校では1月8日に開かれ、全児童403人が参加。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、学年ごとに決められた題目に挑戦しました。冬休み中に練習した成果を発揮しようとして、筆を走らせるみんなの表情は真剣そのもの。5年生の男子児童は「止め、はね、はらいに気を付けて、納得いく字が書けました」と満足そうに書き上がった作品を眺めていました。



教育の充実に向け気持ちを新たに

第32回三好町新年教育研究大会

三好町新年教育研究大会が1月8日、サンアートで開催されました。町内小中学校の教員が集まり、授業研究や県外研修の成果を発表するこの大会。研究報告会では、各校で実施した授業や校務での情報機器の活用による成果が説明されました。またその後の講演会では、講師の愛知県立大学教授の小栗宏次おぐりこうじさんが、教育現場の情報管理の重要性を強調。参加者は大会を通して、子どもたちへの教育に対して気持ちを新たにしました。



サッカーで広がる友情の輪

小学生スポーツ交流

友好都市の北海道士別市からサッカー少年団が招かれ、1月12日に旭グラウンドで交流試合が行われました。士別市からは24人が参加。町内小学校の選抜チーム「三好フレンドエイト」など3チームと対戦しました。士別市の子どもたちは、ピッチの感触を確かめながら目いっぱいゲームを満喫。どのチームも全力で戦い、友情を深めました。士別市の選手は「思いつきりゲームを楽しみました。相手は強かったです」と満足そうでした。



伝統的な遊びにみんな夢中

おはなしカルタ会

おはなしカルタ会が1月5日、中央図書館で行われました。正月遊びを楽しもうと毎年おはなし会ボランティアサークル「おひさま」の皆さんが、初めに絵本「大好きがいっぱい」を読むと、子どもたちは話にのめり込んでいました。続いて童話を題材にしたカルタに挑戦。お手つきをする子どもの姿も見られ、みんな夢中でした。お母さんの一人は「このカルタ大会を毎回楽しみにしています」と笑顔でした。



世代を超えてスポーツ交流

グラウンドゴルフ体験会(三好丘中学校)

グラウンドゴルフ体験会が1月10日、三好丘中学校で行われました。これは外国人やお年寄りなどと「ともに生きる」をテーマに1年生が実施している総合学習の一環で開催。生徒40人は、三好町グラウンドゴルフ協会のメンバーに教わりながら、ゲームに挑戦しました。8ホールを2周してフォームの質問をするなど互いに意気投合。初めてプレーした男の子は「簡単に面白い。調子よくスコアが伸びています」と楽しんでいました。

